



令和6年10月17日

古賀市長 田辺 一城 様

古賀市上下水道事業経営等審議会

会 長 木下 萬喜雄

古賀市下水道事業の今後の汚水処理等のあり方について（答申）

令和6年8月8日付けで諮問のありました古賀市下水道事業の今後の汚水処理等のあり方について、当審議会で慎重に審議を行った結果、市から提示された汚水処理構想の見直しの内容が適当であるという結論に達しましたので、答申します。

なお、構想の推進にあたり、特に別紙に記載の点について留意いただくよう、答申の付帯意見として申し述べます。



付 帯 意 見

1. 公共下水道事業について

公共下水道事業は、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を目的とし、公共下水道の整備を中心に事業が進められてきたが、経営改善などの課題解決を図るため、整備区域を見直すこと。

ア 整備区域の縮小による経営安定化を図ること。

イ 縮小した整備区域について、市民の理解促進に努めること。

ウ 縮小した整備区域については、合併処理浄化槽の設置の促進に努めること。

2. 合併処理浄化槽事業について

公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を促進するため、公共下水道から合併処理浄化槽へ処理方法を切り替えた区域に対し、合併処理浄化槽の設置にかかる、個人の費用負担の軽減を図ること。

ア 補助制度の情報発信を行い、市民への周知を図ること。

イ 合併処理浄化槽の設置にかかる、個人の費用負担の軽減を検討すること。

ウ 公共下水道整備区域縮小に伴う、合併処理浄化槽事業費の増加にかかる予算確保に努めること。



古賀市上下水道事業経営等審議会

会 長 木下 萬喜雄

副会長 西本 由佳

委 員 浦野 倫平

宮崎 剛

吉村 律子

中島 文博

梶浦 孝弘